

第3次たじみ健康ハッピープラン策定会議（第5回）議事録

日時：令和5年11月30日(木)

午後1時30分～3時30分

会場：駅北庁舎4階大ホール

◆出席者 委員36名 欠席5名

1 あいさつ 13:30～

第3次たじみ健康ハッピープラン策定会議 会長 太田竜夫氏

策定会議として市長へ提言予定

今後は推進会議として皆でこの計画を周知、実行していきましょう

2 たじみ健康ハッピープラン総評 13:33～

たじみ岩瀬眼科院長 岩瀬愛子氏

1999年から多治見スタディを実施していたノウハウを生かして、管理医である岩瀬先生の紹介で当時の岐大疫学予防医学の清水教授の指導により、全国21カ所のモデル自治体の1つとして第1次計画を作成した。アンケート調査と学術調査をもとに食生活・運動・喫煙の3つに絞った計画とし、数字で評価するわかりやすい点で厚労省の表彰を受けた。

20年にわたり3本柱のつぼみが多くなり幅広くなり、多くの関係機関や団体、部署が計画を実践してきた成果が現在。今後もこのつぼみが満開になることを期待する。

3 第3次たじみ健康ハッピープラン骨子(案) 13:38～ (早瀬)

ご意見は12月7日(木)までをお願いします

別添資料「骨子」の要旨

- 1章 ・12年計画で6年目で見直し
- ・第1次・第2次の理念を継続、県計画の方針と連動
- ・優先課題は継続しライフステージ別行動目標を設定

- 2章 ・最新データに差し替えていく
- ・健康寿命の延伸の評価がよいのは過去の活動の評価

- 3章 乳幼児期・野菜と薄味が課題
- 学童期 ・コロナの影響もあり身体活動の減少が課題
- 思春期 ・運動の2極化と朝食が課題
- 青年期 ・朝食が課題
- 壮年期 ・薄味と喫煙率
- 高齢期 ・食生活全般と運動

- 4章 ・目標値は専門家の助言により設定
- ・食生活 毎食摂取→毎日野菜 減塩

- 5章 ・分野別にまとめた部分も確認をお願いします

- 6章 「ハッピープラン推進会議」として継続してプランを推進していく

- 4 グループワーク 14:15～ (西村)
テーマ: ハッピープラン啓発方法について
- ① 自己紹介 ～14:20
 - ② 個人ワーク(付箋書き) ～14:25
 - ③ グループワーク(役割分担・付箋貼り) ～14:40
 - ④ グループ分け作業・発表準備 ～14:50

- 5 全体発表 14:50～ 1グループ3分で発表

1G

- ・ポスター・チラシの作成・・・ターゲットを絞って年代別に作成
子どもが作成しコンクールを開催
- ・動画を作成しできるだけ多くの場で流す
- ・企業とのイベントを開催しコンクールの発表の場とする
- ・現在やっていることがハッピープラン(健康づくり)につながっているという意識

2G

- ・わかりやすいことが重要＝視覚に訴える
動画・紙芝居
- ・じわじわ刷り込む＝何回も継続
- ・SNS・メディアの利用

3G

- ・世代に合わせた媒体を作成する必要がある
- ・ポスター・チラシ
- ・学校
- ・広報・SNS
- ・訪問(個人・店・コミュニティなど)
- ・キックオフイベント(有名人の参加)
- ・事業所とのコラボイベント
- ・3キャラのグッズ化(日めくりカレンダーなど)、着ぐるみの作成
- ・動画作成しバスの車内や待合、駅で流す
- ・アプリの開発

4G

- ・何事もインパクトが大事 → マスコットキャラクターを作成
「健康」＝「マスコットキャラクター」と印象付ける
- ・SNS・メディア・アニメ
- ・イベントの実施(マラソン大会・農業祭・公民館講座など)

- ・学校の授業の活用
- ・健康マイレージの活用
- ・民間の協力・・・官民連携

5G

- ・どこで 地域や学校
- ・どのように 授業・広報・チラシ・SNS・啓発イベント（料理教室・スポーツ大会）・・・見るだけでなく体験も必要
- ・プランの統一感のために、一目でわかるようにロゴを作り、協賛企業や商品など多くの所に利用してもらおう（ISOやSDGsのように誰もがすぐわかる）

6G

- ・ティッシュ配付
- ・イベント・サロンの利用
- ・プラン説明会の開催
- ・目に訴えるもの・・・のぼり旗・ポスター・チラシ・新聞
- ・継続した連載記事・・・ピピ・広報
- ・子どもが学び家族へ波及
福祉車いす体験のように授業で実施

6 今後のスケジュール 15：15～15：20（所長）

- 12月 市長に提言
- 1～2月 パブリック・コメント
- 2月 健康づくり推進協議会に報告
- 3月末 冊子完成
- 次年度 「たじみ健康ハッピープラン推進会議」として推進